

くまもと 障がい者プラン

くまもとけん (熊本県がつくった だい かいめ けいかく 第6回目の計画)

くまもとけん しょう ひと ひと
熊本県では、障がいのある人も、ない人も、
あんしん く しゃかい
安心していっしょに暮らせる社会をつくるため
けいかく すす
の計画を進めています。

けいかく れいわ ねん ねん がつ
この計画は、令和3年(2021年)4月から
れいわ ねん ねん がつ ねんかん
令和9年(2027年)3月までの6年間で行
われています。

【資料1】2ページ「5 重点化の視点」を分かりやすい内容にしています。

熊本県は、次の①から⑤に力を入れて、いろいろなことに取り組んでいます。

① 障がいのある人への差別をなくすこと

② 地域で安心して楽しく生活できるようにすること

③ 障がいのある人をいつも支えている人を助けること

④ 障がいのある人のことを考えて思いやりをもった行動をすること

⑤ 地震や大雨などの災害やインフルエンザのような感染する

病気に気をつけて安心して暮らせるようにすること

次のページから、令和8年度の目標に向かって熊本県が取組ん

だ結果を、分かりやすく一覧表にまとめています。

39のチェックポイントがあるので、その中から、もっと良くなってほしいことや、気になったところがあつたらいくつか教えてください。

また、自分が生活の中で大事だと思うサポートや日頃の生活で感じていることがあつたら、聞かせてください。

Ⅰ 安心してくらせるためのサポートの取組の結果
(A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】5ページをわかりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果
1	障がい福祉の施設を出て、町の中で生活を始めた人の数	19人が生活を始めた。	166人に増やします。	D もっともっと頑張ろう
2	障がい福祉施設でくらしている人が、前よりどれだけ少なくなったか	21人少なくなりました。	138人減らします。	D もっともっと頑張ろう
3	障がいのある人が困ったときに相談できる相談センターの数	11の市町村にあります。	45の市町村（全市町村）に増やします。	D もっともっと頑張ろう
4	町で生活する障がいのある人に、困ったことが急におきたときに手伝ってくれる人の数	市や町の施設に16人います。	31人に増やします。	C もっと頑張ろう
5	発達障がいのある人を手伝うための勉強会を受けた人の数	これまで、914人が勉強会を受けました。	935人に増やします。	B あと少し頑張ろう
6	発達障がい児の子育ての経験があり、ほかの家族の相談にのってくれるお父さんやお母さんの人数	これまで、102人になりました。	111人に増やします。	B あと少し頑張ろう
7	常に医療の手助けが必要な子どもたちのための話し合いの場所の数	40の市町村にあります。	45の市町村（全市町村）に増やします。	B あと少し頑張ろう
8	常に医療の手助けが必要な子どもたちの生活を手伝ってくれる人がいる市町村の数	24の市町村が手伝ってくれる人がいます。	45の市町村（全市町村）に増やします。	C もっと頑張ろう
9	行動に強い障がいのある人を手伝うための研修会を受けた人の数	これまで、3,081人が研修会を受けました。	3,895人に増やします。	C もっと頑張ろう

けんこう びょうき なお とりくみ けっか 2 からだの健康や病気を治すことの取組の結果

けっか
(A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】7ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	れいわ ねんど かず 令和6年度の数	れいわ ねんど もくひょう 令和8年度の目標	れいわ ねんど けっか 令和6年度の結果
10	せいしんしょう 精神障がいがある人が、退院してから自分の家で生活できた日数	ひと たいいん にち 365日 のうち、316日間、自分の家で生活できました。	326日に伸びます。	B あと少し がんば 頑張ろう
11	せいしんしょう 精神障がいがある人で、1年以上病院で生活している人の数	ひと ねんい さいいじょう 65歳以上のは、3,213人が病院で生活しています。	2,524人に減ります。	C もっと がんば 頑張ろう
12	せいしんしょう 精神障がいがある人で、退院して家に帰ることができた人の割合	ひと たいいん けつひ じょうはや 3か月以上早く退院した人は55.5% (約6人に3人)でした。	68.9% (約6人に4人)に増やします。	B あと少し がんば 頑張ろう
13	こころ けんこう まな けんしゅう 会を受けた地域の病院の先生の数	ひと これままで、792人が研修会を受けました。	826人に増やします。	B あと少し がんば 頑張ろう
14	じぶん いのち な ひと 自分で命をたち亡くなった人の割合	くまもとけん みん まん にん 熊本県民10万人のうち、15.2人が亡くなりました。	13人に減ります。	B あと少し がんば 頑張ろう
15	むし歯にならない方法や、口の中をきれいにする方法をきちんと勉強した人がいる障がいのある人が暮らす施設の割合	くまもとけん しせつ 75.7% (8つの施設のうち6つの施設)は勉強した人がいます。	87.8% (8つの施設のうち7つの施設)まで増やします。	B あと少し がんば 頑張ろう

3 勉強したり、文化や芸術にふれたり、スポーツをするための取組の結果
(A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】8ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	れいわ ねんど かず 令和6年度の数	れいわ ねんど もくひょう 令和8年度の目標	れいわ ねんど けっか 令和6年度の結果
16	しょうがっこう つく しょう 小学校 で作った障 がいのある人をサポートする計画が、ちゅうがっこう こうこう 中学校 や高校 にもしっかり伝えている割合	97.9 ぱーせんと の児童の計 かく つた 画を伝えました。	ぜん いん はい かく つた 全員の計画を伝えます。	B あと少し がんば 頑張ろう
17	けんりつ こうこう 県立の高校のうちエレベーターがある割合	29の高校のうち、27校 にエレベーターがあります。	29校すべてにエレベーターをつけます。	B あと少し がんば 頑張ろう
18	しょう がいのあるひと たの 楽しめるようにサポートするひと 人の数	364人が協 力します。	650人まで増やします。	D もっともっと がんば 頑張ろう

じぶん ちから せいかつ しょと とりくみ けっか
4 自分の力で生活できるように、仕事のことをサポートする取組の結果
(A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】10ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果
19	障がい福祉施設で働くことをやめて、サポートのない会社で働くことを決めた人の数	319人がサポートを受けず働くことを決めました。	313人まで増やします。	A よくできました
20	少しのサポートを受けながら、仕事を長く続けている障がいのある人の数	148人が、少しのサポートを受けて仕事を長く続けました。	毎年、58人が仕事を長く続けられるようにします。	A よくできました
21	障がい福祉施設で働いているひとを、仕事と生活の相談ができるところへ案内した数	285人を、仕事の相談ができるところに案内しました。	毎年、433人を案内します。	D もっともっと頑張ろう
22	仕事と生活の相談ができるところに相談に来た、障がいのある人の数	463人が、仕事や生活のことの相談に来ました。	毎年、700人の相談にあります。	D もっともっと頑張ろう
23	仕事と生活の相談ができるところに相談に来た障がいのある人が、仕事を始めてからがんばって続けている割合	88.7%の人が、仕事を6か月続けました。	88.0%まで増やします。	A よくできました
24	がんばって働く訓練をした障がいのある人で、仕事が決まった人の割合	43.4%の人に仕事が決まりました。	60%まで増やします。	D もっともっと頑張ろう
25	農家さんと初めて一緒に仕事をした障がい福祉施設の数	これまで、27の施設が一緒に仕事をしました。	60の施設まで増やします。	B あと少し頑張ろう
26	障がい福祉施設（B型の作業所）で働いている人が、1か月にもらっているお金	多くの人が、1か月に約22,572円もらっています。	22,922円まで増やします。	B あと少し頑張ろう

5 障がいのある人が、必要な情報を受け取れるようにする取組の結果
(A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】11ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果
27	自分が見えにくい人のために、本を点字にしたり読んだりする研修会を受けた人の数	これまで、1,485人が研修会を受けました。	1,525人に増やします。	B あと少し頑張ろう
28	耳が聞こえにくい人のために、話を内容をまとめてわかりやすく伝える研修会を受けた人の数	これまで、112人が研修会を受けました。	128人に増やします。	B あと少し頑張ろう
29	目も耳も不自由な人を手伝うための研修会を受けた人の数	これまで、120人の人が研修会を受けました。	137人に増やします。	B あと少し頑張ろう
30	耳が聞こえにくい人のために、話を内容を手や表情でわかりやすく伝える「手話」の研修会を受けた人の数	これまで、1,343人の人が研修会を受けました。	1,355人に増やします。	B あと少し頑張ろう

6 地域で安心、安全に生活するための取組の結果

(A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】13ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果
31	助けが必要な人がいる施設で、災害のときにどうやって安全に逃げるか計画を作っている割合	94.9 % の施設が、災害の時に逃げるための計画を作っています。	全部の施設に計画を作ってもらいます(100 %)。	B あと少し頑張ろう
32	障がいがあったり、妊娠しているなどで長く歩くことができない人のための駐車場を用意してくれているお店の数	これまで、2,212のお店が、駐車場を用意しました。	2,300までお店を増やします。	B あと少し頑張ろう
33	誰もが安全に商品を買ったり使ったりするための見守りのしくみがある市町村に暮らしている人の割合	県で暮らしている62.1 % の人が、商品を買う人や使う人を見守るしくみがある地域で暮らしています。	県で暮らしている半分(50 %)の人たちが、商品を買う人や使う人を見守るしくみがある地域で暮らせるようになります。	A よくできました

7 せいかつ ぱしょ とりくみ けっか 生活の場所をよくする取組の結果

(A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】14ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果
34	誰もが使いやすい建物とするために、建てる前からきちんと話し合いをしている建物の割合	83.9 % の建物が、きちんと話し合いをしてから作っています。	全部の建物で話し合いをします (100 %)。	D もっともっと頑張ろう
35	大きな建物を建てるときに、話し合いがちゃんと終わっていることをお知らせした手紙の数	これまで、4,634件の手紙で、「使いやすい建物です」とお知らせしました。	5,000件に増やします。	B あと少し頑張ろう
36	県がつくった家の中で、誰もが使いやすいように工夫された家の割合	誰もが使いやすいよう工夫した県の家は39.4 % になりました。	40 % に増やします。	B あと少し頑張ろう
37	県が誰もが歩きやすいように工夫して整えた歩道が増える割合	誰もが使いやすいよう工夫した歩道は、これまでに 80.7 % 出来上がりました。	90 % まで出来上がる予定です。	B あと少し頑張ろう
38	バスの中で、階段がなくて乗りやすいバスの割合	83.7 % のバスが、段差がなく乗りやすいバスになりました。	80 % のバスを、段差がなく乗りやすいバスにします。	A よくできました

8 障がいのある人への差別をなくす取組の結果 (A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】15ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果
39	障がいがある人もない人も、みんなが気持ちよく暮らせるために県が決めたルールを知っている人の割合	46.4 % の人が、県が決めたルールを知っていました。	55 % (県民の半分以上の数)にルールを知ってもらいます。	B あと少し 頑張ろう